

コード	501040702
記入日	H24.6.8

課コード	124
課名	学校教育課
課長名	濱崎 健也
担当者	青山 一信

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	小学校耐震化・大規模改造事業
----------	----------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 29 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	501	施策名称	学校教育の充実	項コード	2
基本事業コード	50104	基本事業名称	教育環境の整備	目コード	1
事務事業コード	5010407	事務事業名称	小学校施設整備事業費	細目コード	966
関連計画		法令・条例規則等	学校施設環境改善交付金事業		

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 小学校		(対象指標1) 14校				
(対象2) 小学校児童		(対象指標2) 1,167人 (H23.5.31現在)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
(全体計画) ・町内の全小学校校舎及び体育館の耐震化・大規模改造事業を実施する。 ・耐震診断実施100% (H23年度完了) →26棟 (校舎 20棟、体育館 6棟) ・耐震補強棟数 (9学校) →26棟 (校舎 20棟、体育館 6棟) ・大規模改造棟数 (9学校) →21棟 (校舎 12棟、体育館 9棟)	(平成23年度) →有川小校舎補強大規模改造工事 →崎浦小体育館大規模改造実施設計 →奈良尾統合小建設予定地地質調査 →奈良尾統合小建設設計 →若松小耐震診断補強設計 →太田小学校改修工事 (繰越事業分) →魚目小体育館耐震補強工事 →北魚目小体育館大規模改造工事 →崎浦小体育館補強大規模改造工事	① 耐震補強工事	9棟	34.6%	耐震補強棟数÷ 耐震補強計画棟数	平成26年度
		耐震補強工事	2棟	50.0%		平成23年度
		(達成率分析)	当初4棟の補強工事を予定していたが、国庫補助内示の遅れにより2棟24年度への繰越事業となった。			
		② 大規模改造工事	9棟	42.9%	大規模改造棟数÷ 大規模改造計画棟数	平成29年度
		大規模改造工事	3棟	75.0%		平成23年度
		(達成率分析)	当初4棟の大規模改造を予定したが、国庫補助内示の遅れにより2棟24年度への繰越事業となった。			
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・学校施設は、児童が一日の大半を過ごす学習・生活の場であるとともに、災害発生時には、地域住民の避難場所にもなる施設として重要な役割を担っている。このようなことから、耐震診断の結果に基づき、耐震補強及び大規模改造工事を行い、安全安心な学校づくりを推進し、児童の教育環境の整備を図るものである。		① 耐震化率	9棟	34.6%	補強工事済棟数÷ 補強工事予定棟数	平成26年度
		耐震化率	2棟	50.0%		平成23年度
		(達成率分析)	当初4棟の補強工事を予定していたが、国庫補助内示の遅れにより2棟24年度への繰越事業となった。			
		② 大規模改造進捗率	9棟	42.9%	大規模改造済棟数÷ 大規模改造計画棟数	平成29年度
		大規模改造進捗率	3棟	75.0%		平成23年度
		(達成率分析)	当初4棟の大規模改造を予定したが、国庫補助内示の遅れにより2棟24年度への繰越事業となった。			

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 棟	26	9	7	4	2	3	6	8		
	② 棟	21	9	6	4	3	2	0	3	2	5
成果指標	① %	100	34.6	26.9	15.4	7.7	11.5	23.1	30.8		
	② %	100	42.9	28.6	19.0	14.3	9.5	0	14.3	9.5	23.8
総事業費 C (A+B)	千円	2,375,770	817,179	487,430	329,749	329,749	473,400	408,380	246,155	122,540	308,116
直接事業費 A	千円	2,307,870	784,279	461,530	322,749	322,749	466,400	401,380	239,155	115,540	301,116
人件費 B	千円	67,900	32,900	25,900	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
内訳	従事職員数	人	9.7	4.7	3.7	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円	779,601	253,710	151,589	102,121	102,121	172,627	123,957	84,300	34,967
	県補助金	千円									
	起債	千円	1,289,400	356,400	167,300	189,100	189,100	264,400	263,500	147,100	76,500
	その他	千円	81,510	66,110	45,096	21,014	21,014	15,400			
一般財源	千円	225,259	140,959	123,445	17,514	17,514	20,973	20,923	14,755	11,073	16,576

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

<b>1次評価</b>	<b>妥当性</b>	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	<b>理由</b>	学校教育法第5条により学校の管理及び経費の負担は設置者の責務であり、安全で快適な教育環境を整備することは町の責務である。
	<b>有効性</b>	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	<b>理由</b>	耐震補強、大規模改造工事を実施し、目的は達成されている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	<b>理由</b>	耐震診断及び整備計画に沿っており、早期着手により成果の向上が期待できる。
	<b>効率性</b>	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	<b>理由</b>	整備計画に沿っており、費用及び業務量に見合った活動結果が得られている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	<b>理由</b>	現在の取り組みが最も効率的である。	

**改善 ( ACTION )**

<b>1次評価</b>	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	計画的な整備によって、安全で安心な教育環境の整備が図られており、地域防災への役割も果たしている。
	今後、課題に向けた改善策	耐震化による大規模改造は、地震等の災害発生時には地域住民の応急避難場所としての役割も果たすことから、その安全性を確保することは極めて重要である

<b>2次評価</b>	学校の安心・安全な教育環境整備のため、年次計画に基づき事業を進めること。また、国の補助金の動向について注視するとともに関係課等と調整しながら事業の進捗に支障がないよう努めるとともに、経費の執行については適正に行うこと。
-------------	---

<b>3次評価</b>	住民等の意見
<b>町の対応</b>	

<b>今後の事業の方向性</b>	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1次	2次	3次	●	●								このまま事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1次	2次	3次										類似事業と整理統合
	1次	2次	3次																									
	●	●																										
1次	2次	3次																										
			事業内容を見直して事業を継続		事業の休止																							
			事業費を見直して事業を継続		事業の廃止																							

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。